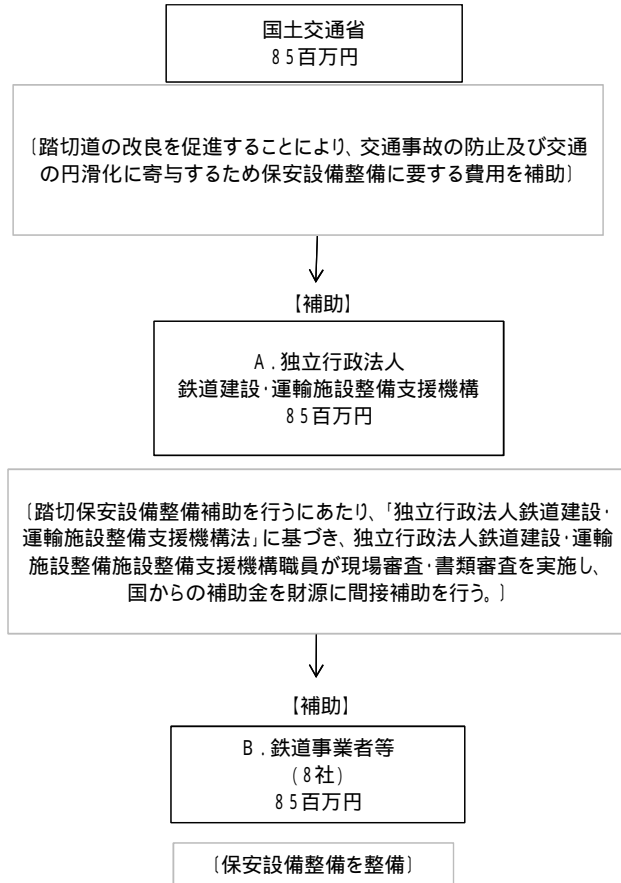


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	踏切保安設備整備費補助金		担当部局	鉄道局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和36年度		担当課室	施設課		課長 潮崎 俊也		
会計区分	一般会計		施策名	公共交通の安全確保・鉄道の安全性向上、ハイジャック・航空機テロ防止を推進する。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	踏切道改良促進法 第8条		関係する計画、通知等	交通安全基本計画 (平成23年3月31日 中央交通安全対策会議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	踏切道の改良を促進することにより、交通事故の防止及び交通の円滑化に寄与するため							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	踏切道改良促進法に基づく、踏切遮断機・警報機、踏切警報時間制御装置及び高規格化保安設備の整備について、鉄道事業者が負担する事業費の一部を国(1/2または1/3)及び地方公共団体(1/3)が補助する							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	169	160	152	149	119	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	169	160	152	149	119	
	執行額	147	131	85				
執行率(%)	87.3%	82.0%	55.9%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年	21年	22年	目標値(27年)	
	平成27年までに踏切事故件数を平成22年と比較して約1割削減することを目指す(第9次交通安全基本計画)		成果実績 踏切事故件数	333件	327件	314件	約280件	
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	踏切保安設備の整備箇所数		活動実績 (当初見込み)	箇所	31	28	13	-
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	踏切保安設備整備費	149	119	踏切事故防止の効果が高く、国が支援すべきと考えられる事業箇所を厳選して事業を実施することとした。				
	計	149	119					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	チーム所見を踏まえ、踏切事故防止の効果が高いと考えられるものに重点化して事業を実施		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		毎年予算が漸減していく中、国が支援すべき事業箇所を厳選し、事業者の協力等も得ながら、できるだけ早く、踏切保安装置の未整備箇所の解消や不十分な踏切保安装置の高度化を進めるべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
チーム所見を踏まえ、踏切事故防止の効果が高く、国が支援すべきと考えられる事業箇所を厳選して事業を実施することとした。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



A.独立行政法人鉄道施設・運輸施設整備支援機構			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	保安設備設置	85			
計		85	計		0
B.九州旅客鉄道(株)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	保安設備設置	25			
計		25	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人鉄道施設・ 運輸施設整備支援機構		85	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	九州旅客鉄道(株)		25		
2	四国旅客鉄道(株)		21		
3	上毛電気鉄道(株)		10		
4	島原鉄道(株)		7		
5	長良川鉄道(株)		6		
6	平成筑豊鉄道(株)		5		
7	秩父鉄道(株)		5		
8	関東鉄道(株)		5		
9					
10					